

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援		(1) 健康教育・健康相談		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H27)	目標値(H29)		
健康相談事業	保険健康課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
<p>健康増進法に基づく健康増進事業による健康相談を実施する。 事業の対象年齢は、40歳から65歳未満とされているが、宇和島市健康づくり推進計画を基本として、成人期の健康づくりに役立てることとしている。事業の主な内容は、血圧測定・体重の測定を始め、尿検査、保健師・栄養士による健康及び栄養に関するアドバイスを通して市民の健康づくりに寄与する。</p>					
平成28年度実績					
1) まちの健康相談室 実施内容: 健康に関する相談、健診結果の説明、血圧・体重測定、尿検査(希望者のみ) 実施回数: 年間48回(市役所、吉田支所、三間公民館、津島保健センターにおいて毎月実施) 参加者数: 年間延べ 450人 2) その他の健康相談 実施内容: 歯周疾患健康相談、病態別健康相談、市民健康相談等 実施回数: 年間延べ 73回 参加者数: 年間延べ 924人					決算額
					242千円
					実績値
					121回
総計: 121回 延べ1,374人					進捗状況
4					
事業に対する評価・課題等					
<ul style="list-style-type: none"> ・重症化ハイリスク者に対して、健診結果説明会の利用勧奨を実施することにより、健診受診後の治療放置予防に役立っている。 ・歯科相談と健診結果説明会を同時開催とし、来所者の待ち時間を利用して個々の状況に応じた相談・指導が実施できた。 					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成29年度予定					
<ul style="list-style-type: none"> ・まちの健康相談(健診結果説明会同時開催)について、各医療機関へ案内ちらしの掲示依頼を行い、様々な保健事業を通じて市民に広く周知し、活用を促進していく。 ・定例日以外にも、随時、来庁・電話相談等による相談が可能であることを周知していく。 					予算額
					250千円
					目標値
-					

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援		(1) 健康教育・健康相談		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H27)	目標値(H29)		
健康教育事業	保険健康課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
<p>健康増進法に基づく健康増進事業による健康教育を実施する。 事業の対象年齢は、40歳から65歳未満とされているが、宇和島市健康づくり推進計画を基本として、成人期の健康づくりに役立てることとしている。事業の主な内容は、生活習慣病予防をはじめ市民の健康づくりを目的とした運動、栄養等に関する知識の普及と実践への支援を行う。</p>					
平成28年度実績					
1) 一般健康教育(生活習慣病予防、健康増進の方法等) 実施回数:51回 延べ人数:610人 2) 重点健康教育(歯周疾患、ロコモティブシンドローム、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、病態別、薬) 実施回数:100回 延べ人数:4,588人 3) 「健康づくり出前講座」の実施(公民館、地域の子育て支援サークル等との連携による健康教育) 実施回数:6回 延べ人数:135人 (※回数、人数はともに1)2)内に含まれる) 4) 広報うわじま「健康づくり通信」掲載・・・毎月 5) 健康づくりパネル展の実施・・・48回					決算額 583千円 実績値 151回 進捗状況 4
健康教育総計:151回 延べ5,198人					
事業に対する評価・課題等					
<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代への教育拡大を目的として、健康づくり出前講座の対象に地域の子育て支援サークルを追加した。 ・また、託児希望の場合の流れについて社会福祉協議会と協議し、子育て世代が利用しやすい環境を整備した。 					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					5
平成29年度予定					
<ul style="list-style-type: none"> ・休日や夜間実施など、対象者が利用しやすい時間帯の希望について検討し、実施する。 ・引き続き、若い世代へが利用しやすい環境を整備し、子育て支援サークル等の団体に対し周知を行う。 					予算額 757千円 目標値 -

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり							
推進方策	2 生涯を通じた健康支援							
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援				(1) 健康教育・健康相談			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H27)	目標値(H29)					
高齢者サロンへの医療出前講座	病院局 (吉田病院)	1回	18回	①充実		②継続	③新規 ●	
事業の概要								
高齢者の健康支援のため、医師・看護師・栄養士・理学(作業)療法士・薬剤師等が地域の高齢者サロンに出向き、医療(健康)講座・相談を行う。 (24年度より実施中)								
平成28年度実績								
平成28年度開催実績 なし (高齢者サロンより依頼が無かったもの)							決算額	
							-	
							実績値	
							-	
							進捗状況	
							1	
事業に対する評価・課題等								
高齢者サロンからの依頼を待つのではなく、サロン開催時期を把握し、こちらから講座の開催を積極的に提案するなど、教育の機会を増加させていく必要がある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-	
平成29年度予定								
高齢者サロンより依頼を受けているため、当年度は実施予定。							予算額	
							-	
							目標値	
							1回	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(1) 健康教育・健康相談			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H27)	目標値(H29)				
医療懇談会の実施(地域住民の健康増進)	病院局 (津島病院)	11回	50回	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
地域住民の健康増進を図るため、自治会単位での医療懇談会の実施。							
平成28年度実績							
津島地区の各自治会の集会所等において、病院長及びスタッフが住民と医療について懇談を行った。 実施回数 10回 出席者数 134人							決算額
							-
							実績値
							10回
							進捗状況
							2
事業に対する評価・課題等							
現院長就任から約10年間実施しているが、自治会の実施要望は思うように増加しない。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成29年度予定							
各自治会単位での実施を継続していく。							予算額
							-
							目標値
							15回

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H27)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
特定保健指導の推進	保険健康課	36.1%	60%				
事業の概要							
<p>内臓脂肪症候群に着目した特定健康診査の結果に基づく階層化により、生活習慣改善の必要度に応じた「積極的支援」「動機づけ支援」「情報提供」の分類を行い、それぞれに即応した特定保健指導を行う。</p> <p>特定保健指導は、市民自らが生活習慣改善の目標を設定し、実践するものであり健康に関する自己管理ができ、結果として内臓脂肪症候群の改善を目的として実施する。</p>							
平成28年度実績							
特定保健指導(H29.3月末現在) 積極的支援 対象者 207名 初回面接実施者 61名 実施率 29.5% 動機づけ支援 対象者 451名 初回面接実施者 177名 実施率 39.2%							決算額
							677千円
特定保健指導受講者の改善状況(積極的支援から動機づけ支援・情報提供、動機づけ支援から情報提供になったもの) 平成27年度特定保健指導受講者 積極的支援 改善率46.4% 動機づけ支援 改善率24.4%							実績値
							36.2%
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・実施率・終了率とともに、改善率も上昇させるために、効果的な保健指導を実施していく必要がある。 ・資料や視覚媒体の充実や従事者のスキルアップも重要である。 ・重症ハイリスク者の出現率をみると、積極的支援対象者のうち3～4人に1人、動機づけ支援対象者のうち5人に1人がハイリスク者であることが分かった。 <p>受診勧奨とともに特定保健指導の受講勧奨も強化し、生活改善も同時にすすめていく必要がある。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成29年度予定							
<ul style="list-style-type: none"> ・新規受講者用の記録冊子の修正 目標達成に必要なエネルギーの算出法を一部修正(1年間で体重が増加した場合の補正を追加) 同ページの見開きとして、運動と食事の組み合わせが改善の基本であることを意識づけるための参考資料を掲載。 ・継続受講者には、効果的な目標設定ができるよう市販の冊子を使用する。 							予算額
							818千円
							目標値
							60%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援		(2) 生活習慣病予防教室		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H27)	目標値(H29)		
糖尿病教室	病院局 (宇和島病院)			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
入院患者や外来患者を対象として、医師により糖尿病の基礎知識や治療法に関する講義を行うほか、発病または進行を予防するための食事栄養・運動等の療法について栄養士、リハビリ技師等が指導するなど、実践に繋がる学習機会の提供を行う。					
平成28年度実績					
実施回数 33回(夜間糖尿病教室3回を含む) 延参加者数 990人(入院 149人 外来 841人)					決算額
					-
					実績値
					左記のとおり
					進捗状況
					5
事業に対する評価・課題等					
<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な開催が継続できている。市広報や病院ホームページ、院内ポスター掲示、開催当日の院内放送などで、患者、市民に広く浸透し、糖尿病予防の啓発が図れた。 ・平成28年度の予定通り、これまでの内科のみならず皮膚科、歯科口腔外科、眼科、泌尿器科、整形外科などの医師や、栄養士、理学療法士、薬剤師、臨床検査技師、看護師のコアスタッフに加え臨床心理士、歯科衛生士、総務管理課、地域連携室職員による講話を実施し、多角的に糖尿病の理解を深めることができた。 					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					5
平成29年度予定					
屋間糖尿病教室 年間30回、夜間糖尿病教室 3回開催 平成28年度同様、医師・コメディカル・事務部門の全病院スタッフが講師となる予定。患者会(パール会)活動を通して世界糖尿病デーのイベントも平成28年度同様実施予定。					予算額
					-
					目標値
					-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H27)	目標値(H29)				
心臓病教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
入院患者や外来患者を対象として、特に3大疾病の1つである心筋梗塞を引き起こす可能性のある心臓病に焦点をあて、生活習慣を改善することで予防に繋げるため、医師による病気の基礎知識及び治療法に関する講義、栄養士による栄養食事指導など実践に繋がる学習機会の提供を行う。							
平成28年度実績							
実施回数 12回 延参加者数 213人(入院患者 10人、外来患者 203人)							決算額
							-
							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
5							
事業に対する評価・課題等							
定期的に開催しており、事前に広報うわじまでの周知や当日は随時院内放送を実施していることから、患者・市民に広く浸透し、心臓病予防に対する意識啓発が図れた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成29年度予定							
今後も定期的に実施する。							予算額
							-
							目標値
-							

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H27)	目標値(H29)				
肝臓病教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続	③新規 ●
事業の概要							
入院患者や外来患者を対象として、医師による肝臓病についての正しい知識や治療法に関する講義を行うほか、栄養士による栄養食事指導を行い、実践につながる学習機会の提供を行う。							
平成28年度実績							
実施回数 4回 延参加者数 25人(入院患者 2人、外来患者 23人)							決算額
							-
							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
参加人数は他の教室に比べると少ないが、広報や院内掲示ポスター、他の教室参加者への声かけを実施することにより広く周知し、患者の知識の向上及び普及に取り組んでいると考える。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成29年度予定							
内科医師、栄養士、薬剤師のほか、平成29年度より看護師、リハビリテーション技師も加えて、年間4回の実施を予定。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H27)	目標値(H29)				
生活習慣病予防のためのお料理教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続	③新規 ●
事業の概要							
生活習慣病予防のために、食事内容の改善につながることを目的に、栄養士が減塩や野菜たっぷりのレシピを作成し、調理師とともに実習を行い、実践につながる調理自習の機会を提供する。							
平成28年度実績							
実施回数 10回 延参加者数 57人(入院 1人 外来 56人)						決算額	-
						実績値	
						左記のとおり	
						進捗状況	5
事業に対する評価・課題等							
毎回テーマに沿った献立を立案し、講義と調理実習を通して生活習慣病予防のため、日常的な実践に繋がる情報を提供した。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
平成28年度予定							
月1回実施予定(ただし8月、1月は休み)						予算額	-
						目標値	
						月1回実施	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(3) 壮年期からの健康づくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H27)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
心の健康相談事業	保険健康課						
事業の概要							
<p>心の健康に関する相談事業をいう。 当該事業は、個別の相談に対して、相談窓口の周知による情報提供及び必要な助言を行うことにより、個々のもつ悩みを軽減することを目的として実施する。近年は、うつ病に関する相談をはじめ精神障害に関する相談や社会復帰のための相談が多くなっている。 事業の従事者としては、精神科医師、保健師等に対応する。</p>							
平成28年度実績							
①実施場所：宇和島市役所							決算額
②日 程：(精神科医師) 偶数月 第2水曜日 (保健師相談) 随時							-
③利用状況：(精神科医師相談) 実人数 10人 延人数 10人 内容がうつ病、統合失調症、発達障害、対人関係等 (保健師相談) 実人数 104人 延人数262人 内容は老人性精神病、アルコール依存症、薬物、ギャンブル、思春期、こころの健康づくり等 (電話相談) 延人数 163人							実績値
							425人
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・医師相談は、本人や家族からの相談だけでなく、近隣住民や支援者も利用。本人への間接的な支援の場にもなっている。 ・相談者の年齢は30～70歳代と幅広い年齢層に対応している。 ・相談後は、ほとんどのケースで継続支援を行っている。受診につながり改善しているケースもある。相談をきっかけに、「いつでも、相談できる。」という安心に繋がっている。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成29年度予定							
①相談や治療につながったケースについて、相談機関や医療機関等と連携し、継続的にフォローする。							予算額
②相談者への情報提供を充実する。 ・相談機関や専門医療機関、治療に関する情報や本人・家族でできる具体的対処方法(気づく・つなぐ・見守るの具体的方法)の提示など							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(4) 男性に対する健康づくり支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H27)	目標値(H29)				
心の健康づくり教育事業	保険健康課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
心の健康づくりに関する知識の普及を図ることを目的として、全市民を対象とした各地区公民館、各種団体等に出向き保健師による健康教育を実施する。							
平成28年度実績							
心の健康づくり健康教育 年間計画に基づき健康教育を実施 年間回数： 37回 延人数： 964人 対象者： 一般住民、食生活改善推進委員、児童 内容： ①心の健康づくり ②ゲートキーパーになろう ③ストレスチェック ④自己肯定感を育てる							決算額
							616千円
							実績値
							964人
							進捗状況
5							
事業に対する評価・課題等							
・ライフステージに応じた内容や各地区の状況に合わせた内容で健康教育が実施出来た。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成29年度予定							
・年間計画に基づいた健康教育の実施 ライフステージごとの保健事業を活用した教育、パネル展を開催し広く市民に心の健康づくりの啓発を予定							予算額
							673千円
							目標値
-							

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(5) 喫煙・飲酒に対する対策			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H27)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
健全育成推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	90%	100%				
事業の概要							
喫煙、飲酒の健康被害について情報を提供する。 「心身ともに健康な子」の育成。							
平成28年度実績							
							決算額
保健指導における喫煙・飲酒の健康被害について、理解・意識が高まるよう指導内容・方法の改善に努めた。また、生活習慣病予防教室や薬物乱用防止教室を実施した。 喫煙・飲酒と健康について「保健体育」、「学級活動」に位置付け授業で指導した。							実績値
							92%
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
学校敷地内喫煙禁止の徹底により、健全育成に対する家庭や地域への啓発が行えた。 正しい知識の定着につながっていると感じる。家庭との連携を密にしていく。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成29年度予定							
							予算額
受動喫煙防止について保護者に呼び掛ける。 喫煙・飲酒と健康との関係について、授業内容を工夫して指導する。 非行防止教室を実施し、学級指導の充実を図りながら、指導効果を高める。							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(5) 喫煙・飲酒に対する対策			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H27)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
受動喫煙防止対策事業(公民館施設内禁煙)	生涯学習課						
事業の概要							
不特定多数の住民が利用する公民館において受動喫煙防止策を推進するために、平成24年度までに全館施設内禁煙を実施し達成する事ができた。							
平成28年度実績							
平成24年度で全館施設内禁煙を達成することができた。							決算額
							0千円
							実績値
							30館
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
市が管理している公民館は、市の方針として実施できているが、地元管理の集会所を兼ねた公民館については、建物全体の禁煙は困難。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成28年度予定							
市が管理している公民館は目標を達成できたが、地元管理の集会所を兼ねた公民館についても施設内禁煙を目指したい。							予算額
							0千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(5) 喫煙・飲酒に対する対策			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H27)	目標値(H29)				
禁煙外来の開設	病院局(宇和島・津島病院)			①充実		②継続	③新規 ●
事業の概要							
<p>禁煙はこれまで個人の意志や努力の問題とされてきましたが、平成16年より厚生労働省は医師による禁煙指導を「ニコチン依存症」という病気に対する「治療」と位置づけ、公的医療保険の給付対象としました。</p> <p>禁煙外来では、禁煙の実行・継続にむけてのアドバイスや治療薬の処方を行うことにより、禁煙をサポートすることを目的としています。</p> <p>○宇和島病院＝心臓血管外科外来にて。毎週金曜日午後1時30分～午後3時30分</p> <p>○津島病院＝内科外来にて。毎週火曜日午後2時～4時</p>							
平成28年度実績							
						決算額	
市立宇和島病院						-	
① ニコチン依存症管理料算定患者数 16名 ② ①のうち、禁煙治療を終了した者 7名 ③ ②のうち、禁煙に成功した者 7名						実績値	
津島病院						左記のとおり	
当年度実績なし						進捗状況	
						-	
事業に対する評価・課題等							
今後も同様に継続していく。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
平成29年度予定							
						予算額	
今後も定期的に実施する。						-	
						目標値	
						-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり							
推進方策	2 生涯を通じた健康支援							
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(6) 安心して子どもが産める環境づくり				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H27)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
妊婦健康診査(公費負担)	保険健康課	99.3%	100%					
事業の概要								
母子保健法の規定により、妊娠中の女性への健康保持増進を図るために、妊婦健康診査を実施し、その費用の全部または一部を助成することにより、妊婦の経済的な負担の軽減を図り、安心安全な妊娠・出産に資することを目的とするものである。								
平成28年度実績								
〈対象〉宇和島市に住民登録をしている妊婦 〈内容〉 ・昨年度と同様に妊娠期を通して公費負担回数を14回として実施。		(1) 5枚綴り分(A券)			(2) 9枚綴り分(B券)			決算額 35,025千円
		交付数	受診数	受診率(%)	交付数	受診数	受診率(%)	実績値 97.7%
1回目	442	432	97.7%	1回目	446	430	96.4%	進捗状況 5
2回目	450	418	92.9%	2回目	453	412	90.9%	
3回目	454	426	93.8%	3回目	456	402	88.2%	
4回目	457	411	89.9%	4回目	460	396	86.1%	
5回目	463	384	82.9%	5回目	462	384	83.1%	
				6回目	465	356	76.6%	
				7回目	466	312	67.0%	
				8回目	466	222	47.6%	
				9回目	466	146	31.3%	
事業に対する評価・課題等								
・妊婦健診初回(5枚綴り1回目)の受診率は97.7%であり、昨年度よりも若干下がった。(H27年度99.3%) ・妊婦健診の結果から、高血糖妊婦の割合が県下で高い状況であるため、高血糖妊婦に対しては妊娠中より栄養指導等を行っている。朝食欠食率も11.3%と低くはないため、妊娠期における食事指導を行う必要がある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—	
平成29年度予定								
・今後も母子健康手帳交付時に、妊婦健診受診の必要性や利用方法について説明し、妊娠期の健康管理を支援していく。							予算額 40,000千円	
							目標値 100%	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり					
推進方策	2 生涯を通じた健康支援					
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(6) 安心して子どもが産める環境づくり		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向		
		現状値(H27)	目標値(H29)			
妊産婦相談	保険健康課			①充実 ●	②継続	③新規
事業の概要						
妊娠・出産及び産褥期における異常の予防及び健康増進に関し必要に応じて支援し、妊娠・出産・育児に対する不安を軽減する。また妊婦同士の交流の場とする。						
平成28年度実績						
(対象)宇和島に住民登録をしている妊産婦 (従事者)保健師・管理栄養士・助産師 (内容)個々の妊産婦に応じた相談 (場所・回数) ・母子健康手帳交付時における妊婦相談: 439人 ・定例妊産婦相談(育児相談と同時開催): 宇和島保健センター、吉田公民館、三間保健福祉センター、津島保健センター計48回 【妊婦】相談者(実) 5人、相談者数(延) 11人 【産婦】相談者(実) 36人、相談者数(延) 45人 ・随時妊産婦訪問 【妊婦】実人数 4人(延人数 8人) 【産婦】実人数 23人(延人数 48人)					決算額	
					0千円	
					実績値	
					48回	
					進捗状況	
					4	
事業に対する評価・課題等						
<ul style="list-style-type: none"> ・定例日の妊産婦相談は、乳幼児の育児相談を兼ねて来所する人が多い。 ・特定妊婦については連絡票をもとに関係機関と連携し、児童虐待予防に取り組み、継続した支援を行っている。 ・母子健康手帳交付時には、妊娠中保健師や栄養士が相談に応じれることを説明し、出産に対する不安軽減に努めている。また、支援が必要な妊婦については地区担当保健師が対応、継続支援を行っている。 						
男女共同参画の視点での評価						
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					-	
平成29年度予定						
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、母子健康手帳交付時にアンケートや面接によりハイリスク妊婦を把握する。また、児童虐待予防の視点からも妊娠中から、関係機関との連携を強化し、支援を行う。 ・母子健康手帳交付時に、相談先を載せた連絡先カードを配布し、気軽に相談ができるようにする。また継続して妊産婦相談の周知も行う。 					予算額	
					0千円	
					目標値	
					-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり	
推進方策	2 生涯を通じた健康支援	
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援	(6) 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H27)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
母子健康手帳の交付事業	保険健康課			●			

事業の概要

妊娠・出産・育児に関する一貫した記録と情報を提供し、安全で安心できる出産及び育児に役立てる。

平成28年度実績

(対象)宇和島市に住民登録をしており、妊娠届出書(妊娠証明書)を提出した妊婦 (場所)本庁及び支所窓口にて交付 (内容)母子健康手帳・妊婦一般健康診査受診票・妊婦歯科健康診査受診票交付、保健指導、ハイリスク妊婦の把握、妊婦アンケートの実施、母子保健事業の紹介、母性健康管理指導事項連絡カードの説明、出産後の諸手続きの説明(従事者)保健師・助産師	① 交付数				決算額
	交付数	(再掲)			85千円
	439人	初産婦 169人 (38.5%)	未入籍 50人 (11.4%)	18歳以下 8人 (1.8%)	実績値
	② 妊婦の喫煙状況 (妊婦アンケート回答485人)				439人
	432人	非喫煙 432人	時々、毎日喫煙(率) 25人(5.8%)	禁煙希望 14人	進捗状況
③ 同居家族の喫煙状況 (妊婦アンケート回答485人)				5	
	非喫煙 261人	喫煙(率) 182人(39.6%)	禁煙希望 38人		

事業に対する評価・課題等

- ・母子保健のスタートである母子健康手帳交付時に保健師・助産師が関わることで、アンケートや面接によりハイリスク妊婦の把握を行い、虐待予防の視点から必要な支援へとつないでいる。特に支援が必要な妊婦については、地区担当保健師が母子手帳を交付するなど、保健師と妊婦がお互いの顔が分かる関係づくりを行っている。
- ・母子健康手帳交付時、夫婦で来庁される場合も多く、妊娠・出産についての不安を夫婦で共有し、相談することができている。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	—

平成29年度予定

・母子保健のスタートである母子健康手帳交付時に保健師が関わり、ハイリスク妊婦の把握とともに、妊娠中から産後の関わりへと切れ目のない支援を行う。 ・喫煙習慣のある妊婦及び同居家族に対しては、母子健康手帳交付時に喫煙(受動喫煙含む)による胎児や母胎への影響についてパンフレット等を用いて情報提供を行い禁煙を勧める。 ・3ヶ月児健診時点で、喫煙している産婦の割合を調査し、禁煙への行動変容について分析していく。 ・母子手帳交付時、全ての妊婦へ市役所・各支所の連絡先カードを配布することで妊婦が1人で悩むことなく相談できる環境を提供する	予算額
	86千円
	目標値
	—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(6) 安心して子どもが産める環境づくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H27)	目標値(H29)				
安産教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
妊婦の健康管理の必要性についての啓発や妊娠・出産に関する不安等に対応できる相談を行うもの。							
平成28年度実績							
毎月、第1、第3、第4火曜日に実施(第1火曜日は栄養指導も実施) ・栄養指導については、栄養士による指導を行っている。 ・実施回数 22回 延220名参加							決算額
							-
							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
該当者には、検診時に案内していることから、多数参加してもらっている。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成29年度予定							
今後も継続して定期開催予定している。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(6) 安心して子どもが産める環境づくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H27)	目標値(H29)				
育児学級	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
産後の健康管理の必要性についての啓発や育児に関する不安等に対応できる相談を行うもの。退院時だけでなく、外来に来られた妊婦を対象として、参加を呼びかけている。							
平成28年度実績							
参加者 なし							決算額
							-
							実績値
							0%
						進捗状況	
						1	
事業に対する評価・課題等							
助産師が不足しているため、事実上休止している状態							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成28年度予定							
以前より実施している退院1週間後の電話訪問と産褥1ヶ月の健診時に助産師の保健指導を実施し、不安等の軽減に努めていきたい。							予算額
							-
							目標値
						-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	2 教育・相談の充実		(1) HIV/エイズや相談の充実		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H27)	目標値(H29)		
HIV/エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及・啓発	保険健康課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
<p>全国における平成23年のHIV感染者及びエイズ患者の新規報告数(確定値)は1,529件であり、平成19年以降患者数の多い状態のまま推移している。平成23年の新規HIV感染者は1,056件で過去4位の報告数となり、また新規エイズ患者報告数は473件で過去最多の報告数となっている。そのため、早期発見のために、検査機会を提供する必要がある。愛媛県においては、保健所が検査・相談体制の構築を進めている。市においても、保健所が実施するHIV検査及び相談事業等について、ポスター、チラシ、広報等の手段により、市民へ広く周知するほか、健康教育において感染症の正しい知識の普及・啓発を図っている。</p>					
平成28年度実績					
○「世界エイズデー」ポスター保険健康課窓口掲示 ○県「エイズ予防週間」・県「エイズ夜間相談検査」 ・リーフレット 各支所・各保健センター設置 ・12月広報に記事掲載					決算額
					0千円
					実績値
					100%
					進捗状況
					3
事業に対する評価・課題等					
<p>HIV/エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及・啓発に努めることにより、偏見・差別を解消し、拡大する感染の抑止となっている。また、HIV/エイズ・性感染症に関する偏見・差別のない社会を構築することにより、男・女・年齢にかかわらず検査を受けやすい環境を整備するため、今後も継続して啓発に努める必要がある。</p>					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					5
平成29年度予定					
ポスター掲示 チラシ配布・設置 広報記事掲載					予算額
					0千円
					目標値
					-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	2 教育・相談の充実			(1) HIV/エイズや相談の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H27)	目標値(H29)				
健康衛生推進事業・人権啓発推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	89%	100%	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
<p>HIV/エイズや性感染症に関する正しい知識を普及する。 性に関する指導の充実。 「心身ともに健康な子」の育成。 学校での児童が、発達段階に応じた知識を身につけ、適切な行動が取れるようにするための教育の推進。</p>							
平成28年度実績							
<p>保健面以外にも、道徳や学級活動の時間に心の面の指導を行った。 人権・同和教育の視点から、HIV/エイズ患者への偏見をなくす学習を行った。 性に対する正しい知識や認識をもち、自他の性や命を大切にすることを性教育を通して養った。</p>							決算額
							実績値
							90%
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
<p>指導内容に変化がなく、基本的な指導になっているため、工夫が必要である。 児童の理解度を把握することが難しい。 保護者への啓発や連携が課題である。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成29年度予定							
<p>学校だより、学級通信、ほけんだより、ホームページ等を通じて、保護者への啓発を行う。 人権・同和教育の視点から、HIV/エイズ及びハンセン病への知識を身につけ、偏見をなくす学習を行う。 養護教諭が思春期保健教室を行う。</p>							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	2 教育・相談の充実			(2) 発達段階に応じた生命と人権を大切にする 性教育の推進			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H27)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
生きる力を育む教育推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	90%	100%			●	
事業の概要							
生命尊重・人格尊重・男女平等の精神に基づき自分自身を大切にし、相手の心身の健康についても思いやりを持つことができるよう、指導を推進する。 心身ともに健康な子の育成。							
平成28年度実績							
学校の教育活動を通じて、個々の存在、大切さを認める活動をしてきた。 児童の自尊感情の育成と一人一人がかけがいのない存在であることを繰り返し指導した。 助産師を講師として招き、3年生を対象に性教育講演会を実施した。 人権委員会主催の「いじめ根絶集会」で、いじめの根絶を意識し、思いやる心を学んだ。							決算額
							実績値
							92%
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
各学年の発達段階に応じた指導を実施しているが、家庭環境や個人差もあり、一律の指導は難しい。 学習したことを、学校・家庭・社会生活で実践していく力を更に高めていきたい。 集会だけでは実践力に結びつかない。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成29年度予定							
あらゆる活動を通して、自他の生命を大切にし、相手を思いやる心を育てるよう指導の工夫と充実を図る。 特別な教科「道徳」を見据えて、道徳全体計画及び年間指導計画を見直し、生命尊重・人格尊重・男女平等・国際理解の精神を育む。 生徒に自己有用感、自己肯定感が持てるような活動や指導を心掛ける。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備			(1) 健康診査			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H27)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
基本健康診査の推進(H19年度老人保健法→H20年度特定健診の受診率)	保険健康課	27.5%	60%	①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
<p>宇和島市国民健康保険被保険者の内、40歳から74歳の者を対象として実施する健康診査をいう。 糖尿病等の生活習慣病が起因とされている内臓脂肪症候群の該当者を早期に発見し、特定保健指導につなげることを目的として健康診査を行う。市民の健診に関する関心度や仕事が忙しいなどの理由による健診離れが進んでおり、健診の重要性を周知徹底する必要があると感じている。健康の基本は、健診からであることを周知することにより受診率アップに努める。</p>							
平成28年度実績							
・特定健診・後期高齢者健診：個別(6月～2月)・集団(6月～1月 61回)で実施							決算額
							46,592千円
							実績値
							30.0%
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
・特定健診の受診率は、30.0%に達した。国の目標の60%に向けて引き続き受診率向上を図る必要がある。 ・不定期受診者への受診勧奨では、勧奨者の約半数から申込みがあり、継続受診(受診の習慣化)へ繋げることができた。 ・未受診の理由を把握し、健診を見直し、受けやすい体制作りが必要である。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成29年度予定							
1) 受診しやすい健診体制の整備 ・特定健診の無料化及び周知の継続 ・市民が利用しやすい健診会場、日程の設定 ・年度末年齢40歳のがん検診の一部無料化の継続							予算額
							59,292千円
2) 受診率アップの取り組み ・昨年度の受診率アップ対策を継続実施 ・国保新規加入者への受診勧奨 ・医療機関と連携し、人間ドック等での受診券利用促進							目標値
							60%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備			(1) 健康診査	
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H27)	目標値(H29)		
人間ドックの充実(施設設備・検査項目)	病院局 (宇和島病院)			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
1日ドックを月～金曜日の各日で1日あたり5名まで、2日ドックを火・水曜日、木・金曜日の2クールで1クールあたり8名まで、脳ドックを火曜日、木曜日、金曜日に1名ずつ受け入れ、実施している。検査メニューは充実しており、また同程度の内容で実施している県内の他施設に比べて安価な料金設定を行っていることにより、圏域の受診率向上にも寄与している。また、受診時には、集団による健康管理指導も実施している。					
平成28年度実績					
一般個人の受診のみならず、企業等の契約を積極的に受け入れている。 ドック受診者数 1日ドック:1,117人 2日ドック: 344人 脳ドック: 123人 合計: 1,584人					決算額
					-
					実績値
					左記のとおり
					進捗状況
					-
事業に対する評価・課題等					
人間ドック全体の受診者数は前年度より微減(△18人)となったが、ドック以外の健診・検診は増加してきており、健診内容の多様化がうかがえる。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					-
平成28年度予定					
今後も継続して実施する。					予算額
					-
					目標値
					-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり	
推進方策	2 生涯を通じた健康支援	
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備	(2) がん検診の体制整備

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H27)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)	保険健康課	7.5-20.9%	50%	①充実	②継続	●	③新規

事業の概要

健康増進法に基づき各種がん検診を実施する。
 死亡原因の三大要因のうち、がん(悪性新生物)による死亡の減少は、全国と同様に当市においても急務であるとする。がんの早期発見・治療なくしてがん死亡を減少させることは困難であることから、市民が受診しやすい体制づくりに努めると同時に、検診項目及び検診の精度管理等の充実に努め受診率アップを図る。

【対象年齢とがん検診項目】

- ・20歳以上女性:子宮がん検診
- ・30歳代女性:乳房超音波検診
- ・40歳以上:胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診・前立腺がん検診・乳がん検診(マンモグラフィ)

平成28年度実績									
H28年度 がん検診実績						クーポン事業受診状況		決算額	
	胃がん	肺がん	大腸がん	前立腺がん	子宮頸がん	乳マンモ	子宮頸がん		実績値
受診者	2,424	4,546	4,866	1,915	2,788	3,066	受診者(人)	受診率(%)	
受診率	7.5	14.0	15.0	14.6	18.3	21.7	受診者(人)	受診率(%)	7.5-20.9%
							平成27年度	135 10.4	233 12.8
							平成28年度	23 6.9	147 29.7

事業に対する評価・課題等

1) 受診しやすい検診体制の整備
 ・年度末40歳の一部がん検診無料継続
 ・子育て中が受診しやすい検診体制の整備(ボランティアの協力等)
 ・子宮頸がん・子宮体がんセット検診の実施
 ・子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポン券送付(対象年齢者のみ)

2) 受診勧奨
 ・特定健診の受診勧奨時にがん検診も勧奨した
 ・要精密検査者の受診勧奨を電話・訪問でタイムリーに行った

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成29年度予定	
1) 受診しやすい検診体制の整備 ・女性が受診しやすいレディース検診日の継続と託児の実施 ・子宮頸がん・子宮体がんセット検診の継続 ・子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポン券送付(対象年齢者のみ)	予算額 72,495千円
2) 受診勧奨 ・特定健診の受診勧奨時にがん検診の勧奨も継続	
・特に40歳の受診勧奨を実施 ・要精密検査者の受診勧奨をタイムリーに行う	目標値 50%
3) 知識の普及 ・若年期からのがんの正しい知識の普及 4) 有効性を考慮したがん検診実施の検討	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備				(3) 地域医療の充実		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H27)	目標値(H29)				
国民健康保険直営診療所運営事業	保険健康課	9施設4医師	8施設4医師	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所(9診療所(2出張所を含む))を安定的に運営し、地域住民に対する医療を充実させ、男女がともに安心して暮らすことができる地域づくりに寄与する。</p> <p>平成23年度は医師(所長)5名体制であるが、平成24年3月末の遊子診療所長退任に伴い、以後は当面4名体制となる。また、28年度より、九島診療所が休止となったことに伴い、現在医師3名体制である。なお、引き続き各医師の兼任管理を適正化し、各診療所の診療体制を充実・継続させる。</p>							
平成28年度実績							
<p>平成28年度九島架橋完成にともない、平成28年4月1日から九島診療所を休止とし、平成29年3月31日を以て同診療所を廃止とした。</p> <p>これにより、8施設3医師で医療体制を維持していくこととなり、蔦淵診療所長が遊子、下波を含めた3診療所を、戸島診療所長が嘉島診療所を、日振島診療所長が喜路および能登出張所を兼任管理している。</p> <p>今後も、各診療所が所在する地域の人口は減少傾向にあり、受診患者数も同様に減少していく見込みである。</p>							決算額
							170,769千円
							実績値
							9施設3医師
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<p>継続的に診療所医師募集は行っているが、医師の確保対策は非常に厳しい状況にある。給与等、報酬の増額は、制度・財政的に難しく、募集条件については現状を維持せざるを得ない。今後も継続して医師確保対策に努め、フルタイムでの勤務体制を維持していくことが求められる。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成29年度予定							
							予算額
							220,697千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備			(3) 地域医療の充実	
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H27)	目標値(H29)		
診療船うわじま維持管理事業	保険健康課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所で、診療船うわじまの維持管理(運航等)を行っている。この診療船を活用することにより、離島での医師の兼任管理、兼任管理中の緊急搬送等を行い、地域医療の充実を図るとともに、地域住民の生命の安全を確保している。</p>					
平成28年度実績					
<p>平常時は、戸島診療所長が兼任する嘉島診療所への医師の交通手段として、月曜日、水曜日及び金曜日の午前中、定期運航している。また、施設修繕及び医療機器の導入等、診療所の維持管理に必要な事項について、不定期に運航している。毎年度、年2回の定期ドックを実施し、診療船の維持管理を行っている。</p>					決算額
					5,520千円
					実績値
					1隻
					進捗状況
					4
事業に対する評価・課題等					
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所は、民間医療機関の進出が望めない不採算性の高い地域に所在しているが、これらの地域は、民間交通機関の便数が少なく、診療所間の移動手段は、主に公用車や診療船を利用している。特に離島においては、定期連絡船の運航数が少ない、渡航時間が長い、台風等悪天候時の運航停止等、不測事態となる時があるなど、比較的安定した航行の出来る診療船の果たす役割が非常に大きくなっている。</p>					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					5
平成29年度予定					
<p>平成29年度も戸島・嘉島診療所の兼任管理に伴う診療船運航を実施する。また、年2回の定期ドックを実施する。今後、医師の退職等による、診療日程及び兼任管理診療所の変更が必要となるが、適宜、実情に則した対応を行う。</p>					予算額
					6,617千円
					目標値
					-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備				(3) 地域医療の充実		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H27)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
病院と診療所の連携強化	保険健康課						
事業の概要							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所と市立宇和島病院との連携を強化し、診療所及び病院の役割を明確にし、疾病の段階や状態により住民(患者)にとっての最適な地域医療を提供する。</p> <p>診療所は1次医療機関として、患者の診察治療に当たり、急性期等緊急性の高い患者を市立宇和島病院へ紹介する。また、市立宇和島病院は2次医療機関として急性期等を経過した患者の家庭・地域での生活のため、診療所へ紹介する。</p> <p>診療所及び病院が相互に連携することで、患者のQOLを高め、地域医療の充実を図る。</p>							
平成28年度実績							
						決算額	
						実績値	
						進捗状況	
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成29年度予定							
						予算額	
						目標値	-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備		(3) 地域医療の充実		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H27)	目標値(H29)		
病院と診療所の連携強化	病院局			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
<p>入院を必要としない程度の方を対象に医療を提供している診療所(クリニック)や、生命に危険のある方を助ける3次救急医療や高度専門医療を提供する市立宇和島病院のような急性期病院が、自らの施設の機能や規模、特色、宇和島圏域の医療の状況に応じて、医療の機能分担や専門化を進め、円滑な連携を図るとともに、それぞれの医療機関の有する機能を有効かつ迅速に活用することにより、一層、受診者の方々がシームレスで適切な医療を受けることができるようにする。また、県内初の地域医療連携システムを導入することによって、各種地域連携パスとともに上記地域医療連携を促進する。</p>					
平成28年度実績					
<p>各病棟に専任の相談員を配置し入院時から患者・家族と関わることでスムーズな退院支援と急性期病院特有の多種多様な患者の不安を取り除くことができた。 病院と診療所の連携強化については平成27年5月から開始した地域医療連携システム(きさいやネット)の運用を軌道に乗せることができ、平成28年10月から訪問看護ステーションや調剤薬局にも公開範囲を拡大したことから、参加医療機関が44施設と昨年に比べ9施設増加した。一方、脳卒中連携パスの運用実績は年間69件と前年度に比して減少している。</p>					決算額
					-
					実績値
					-
					進捗状況
					4
事業に対する評価・課題等					
<p>○各専門職の特性を活かした相談支援機能の強化を図ることができた。 ○地域医療連携ネットワークシステム(きさいやネット)の公開範囲の拡大を図ることができた。</p>					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成29年度予定					
今後も継続して実施する。					予算額
					-
					目標値
					-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備			(3) 地域医療の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H27)	目標値(H29)				
地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	病院局			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
<p>全国どこでも適切ながん医療が受けられる体制の整備に向け、地域がん診療拠点病院として認定を受けている。以下の方針に基づき、圏域の医療機関とも連携を図りながら、手術、放射線療法、化学療法等による治療を行うとともに、患者または家族からの相談に対する情報提供や転院等の調整、早期発見を啓発するための広報活動を実施するなど、地域のがん医療水準の引き上げを目指す。</p> <p>○専門的ながん医療の提供を行う。 ○地域の医療機関の情報を把握し、連携の拠点として、地域におけるがん医療提供体制の構築に寄与する。 ○地域のがん医療を支える人材を育成する。</p>							
平成28年度実績							
<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の市民公開講座、医師等を対象とした放射線・化学療法・緩和ケアなどの研修を実施した。 ・拠点病院として緩和ケア研修会を実施し、がん診療に従事する医師等の緩和ケアに関する基本的知識、技術の習得を図った。 ・がん患者とその家族を対象にがんサロン(さくらサロン)を開設し、療養上の悩みや不安、気持ちを分かち合うことで、大きな心の支えの場を設けた。 ・がん相談支援センター窓口として、患者または家族からの相談を受け付け、医師、看護師等との連携を図りながら、がん治療等に関する情報提供や心理面での支援などを行った。 <p>平成28年度 面談相談 1,641件、電話相談 354件</p>						決算額	
						12,190千円	
						実績値	
						左記のとおり	
						進捗状況	
							5
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・研修を実施することにより、スタッフのスキルアップに寄与した。 ・各専門職の特性を活かした相談支援ができた。 ・がんサロンには毎月5～10名の参加者があった。また、平成28年度からミニ講座も開始した。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
平成28年度予定							
今後も継続して実施する。						予算額	
						-	
						目標値	
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-